

第3回在宅栄養ケアスタッフ研修会開催案内

在宅療養における栄養ケア事業について

今年度も大阪府の受託事業として在宅療養者や介護者（家族、ヘルパー等）のニーズに応じた食支援を効率的かつ継続的に行えるよう、地域で在宅療養における栄養ケア体制を構築するための研修会を開催することになりました。

◎主旨

1. 在宅療養者の主な疾患は、脳血管疾患、心疾患、高血圧症等、後期高齢者ではさらに、脱水、嚥下障害等も加わり、これらはいずれも食生活と密接な関わりがある。
2. 在宅療養者を対象とした調査によると、栄養状態に関する次のような問題が指摘されている
 - 1) 在宅要介護高齢者の約70%が栄養不良群及び栄養不良の恐れあり群（府推計 158,558人）
 - 2) 在宅療養者の約40%はたんぱく質・エネルギーが欠乏（府推計 150,007人）
 - 3) 府内病院・介護保険施設の管理栄養士・栄養士数は3,788人（委託給食会社管理栄養士・栄養士含む）。栄養管理・指導に携わる管理栄養士・栄養士数は1施設あたり1～2名であり、入院患者・入所者への対応に加えて、在宅療養者への栄養ケアの対応は不可能。
 - 4) 地域で活動している栄養士や食生活改善推進員等は、現在食育等を中心に活動しており、在宅栄養ケアの経験が少ないため、知識が不十分。よって現状では、在宅療養者の栄養ケアを担う人材が少ない。
 - 5) 在宅医療・介護に関わるスタッフを対象とした調査において、「食や栄養問題を抱えている利用者がいる」と答えた者は82%を占め、在宅療養者の栄養ケアによる良好な身体状況の維持が喫緊の課題。
 - 6) 在宅訪問栄養食事指導は平成6年度から医療保険、平成12年度から介護保険の保険サービスとして加えられ、導入後約20年経過したが、ほとんど利用されていない。
 - ・在宅医療・介護スタッフを対象とした調査において、在宅訪問栄養食事指導を利用しない理由として「どこに頼んでよいかわからない」と答えた者が78%を占め、地域の連携体制が不十分。
 - ・訪問栄養指導により、糖尿病、嚥下障害、低栄養状態、排便障害の改善に短期的効果が示された研究報告、栄養素等摂取量を有意に増加させることができた研究報告あり。
 - 7) 在宅療養者への栄養ケアには、在宅医療・介護の制度など地域のサービスを理解した上で患者の家庭環境や経済状況等も個別に考え、具体的な調理指導を伴った実践サポートが必要であり、在宅療養者の栄養ケアに関わるスタッフの養成、スキルアップが急務である。

参加募集要項

第3回在宅栄養ケアスタッフ研修会開催内容

多職種で連携を図りながら、在宅栄養ケアサービスに適切に対応できる人材を育成することを目的にしています。

参加対象者：管理栄養士・栄養士

在宅医療・介護に携わる関係者（看護師・ケアマネージャー・ホームヘルパー等）

研修プログラム

基礎研修

在宅栄養ケアの実践紹介

グループワーク

糖尿病、CKD、肝臓病の病態と治療

実践研修

栄養ケア計画作成

事例検討

調理実習「在宅でできる介護食」

受講料：無料

基礎研修及び実践研修をすべて受講された方には修了証を発行いたします。

※平成27年度、平成28年度開催の在宅栄養ケアスタッフ研修会を都合により修了されていない方や、もう一度研修を受けたい方も参加できます。

今回は前年と少し内容が変更されていますので、前回受講できなかった内容がどれにあたるか（公社）大阪府栄養士会へお問い合わせください。

開催日

〈基礎研修〉計3回あります。都合の良い日をお選びください。

1回目 10月1日（日） 9：30～17：00 堺市立西文化会館（ウエスティ堺）
7階 セミナールーム

2回目 10月9日（月祝） 9：30～17：00 大阪府社会福祉会館 3階 301号室

3回目 10月22日（日） 10：00～17：30 枚方市市民会館 3階 第3会議室

〈実践研修〉

日程調整中 9：30～17：00 枚方市市民会館、大手前栄養学院 他予定

決定次第（公社）大阪府栄養士会ホームページでお知らせいたしますので、ご確認ください。

定員 各回70名（基礎研修のみ）

締切日 平成29年9月27日（水）（定員になり次第締切ります）

※ 研修会場がご希望に添えない場合のみご連絡いたします。

